

岡崎市内大型店販売動向調査結果〔18店舗〕（平成30年2月分）

対前年同月比0.4%減。降雪と土曜日1日減により、2ヶ月連続で前年実績を下回る！

岡崎市内の主要スーパー・百貨店18店舗を対象とした「大型店販売動向調査（平成30年2月分）」の調査結果がまとまった。それによると販売総額は60億3,612万円、対前年同月比0.4%減となった。降雪の影響や土曜日1日減により、2ヶ月連続で前年同月を下回った。

部門別の結果をみると、主力の「衣料品」は、強い寒気により気温低下が続き、冬物商品が好調だった。半面、春物の動きが鈍く、2.3%減で5ヶ月連続のマイナスとなった。また「食料品」は、節分・バレンタイン商戦や農産品・畜産品を中心に好調を維持し、0.2%増で13ヶ月ぶりにプラスとなった。

一方、全国では、スーパーは既存店ベースで前年同月比1.3%増で3ヶ月連続のプラス、また、百貨店は0.9%減で3ヶ月連続のマイナスで、明暗が分かれた。

生鮮品の価格上昇や株価下落等の影響もあり、政府による消費者マインドの基調判断が下方修正されたが、共働き世帯の増加を背景に総菜需要の拡大を見込み、各社が強化策を掲げており、今後の消費動向や賃上げによる消費の底上げにも期待したい。

＜調査にご協力いただいた、ご担当者様の“生の声”＞

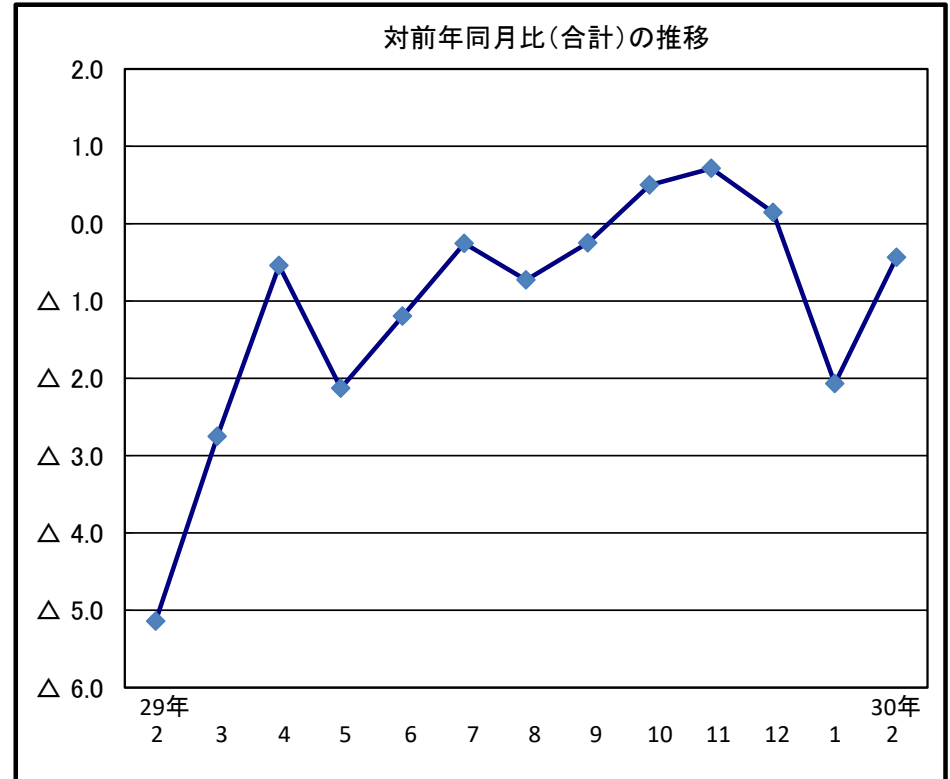
☆寒い日が多く衣料品が引き続き好調。食料品では、節分・バレンタインとハレの日の売上を堅守した。野菜の相場が下がらず、お客様には大変ご迷惑をおかけしている。

☆2月度は営業日が一日少なかったが、同規模で見ると前年同月比を達成した月であった。全館あげての企画の付加や日々飽きさせない取組みによって、数字は出ているが、決して良く売れているとは感じられない。

☆生鮮食品は順調だが、非生鮮部門がドラッグストア等の競合店の影響を受けて、全体として前年を下回っている。

☆改装により食品・飲食は対昨年比越えて順調。一方、隣接する同業店の影響を受け、アミューズメントが減少。衣料品は、寒波による気温低下により、目的購入以外は動きが鈍かった。

☆季節指数に左右されることのない定番商品の売上が安定。資材や備品の買い替えによる大量購入が目立った。一方、屋外使用の春資材も動き出しが早く、序盤は好調の兆しが見える。期末駆け込み需要への対策と春資材の品揃え・売り場拡大・需要への早期対応が売上浮沈を握る。



	月	衣料品		身の回り品		家庭用品		雑貨		食料品		飲食・サービス		その他		合計	
		販売額	前年比	販売額	前年比	販売額	前年比	販売額	前年比	販売額	前年比	販売額	前年比	販売額	前年比	販売額	前年比
平成29年	2月	109,076	△ 6.8	31,815	△ 3.3	31,815	2.2	49,919	△ 12.8	285,954	△ 7.3	54,644	△ 6.0	27,555	51.8	606,251	△ 5.1
	3月	131,769	△ 16.6	58,653	△ 0.3	38,010	21.2	70,717	10.0	277,322	△ 7.1	63,381	△ 3.6	39,111	83.4	678,963	△ 2.8
	4月	149,102	△ 1.8	54,593	△ 2.8	38,697	23.4	52,036	△ 10.0	277,667	△ 2.8	64,402	4.4	27,732	18.1	664,229	△ 0.5
	5月	146,273	△ 3.2	55,299	0.7	42,185	26.8	53,705	△ 9.5	281,701	△ 4.5	60,787	△ 4.8	28,686	12.4	668,636	△ 2.1
	6月	144,233	△ 3.2	56,507	△ 0.4	36,090	3.6	53,255	0.9	278,420	△ 5.4	55,452	△ 8.0	35,548	81.8	659,505	△ 1.2
	7月	159,479	△ 2.4	64,760	△ 2.5	47,139	20.6	56,554	△ 11.0	275,730	△ 5.5	64,132	△ 1.5	42,357	87.9	710,151	△ 0.3
	8月	123,501	△ 2.8	57,990	1.8	43,298	16.7	54,937	△ 12.6	296,664	△ 3.3	62,793	△ 7.5	41,777	53.1	680,960	△ 0.7
	9月	124,744	0.8	49,104	0.2	36,868	26.2	47,747	△ 10.2	271,465	△ 4.2	55,285	△ 1.5	32,997	31.0	618,210	△ 0.2
	10月	155,605	△ 1.1	51,260	△ 1.2	37,029	21.9	49,530	△ 13.5	273,023	△ 2.4	56,104	△ 3.1	35,812	72.9	658,363	0.5
	11月	163,077	△ 2.8	54,235	△ 3.4	40,584	21.5	54,782	△ 11.0	285,214	△ 2.1	56,293	2.4	36,734	77.2	690,919	0.7
	12月	176,162	△ 2.2	67,400	△ 2.6	52,046	18.4	67,142	△ 15.7	315,754	△ 1.1	66,370	1.0	39,445	56.8	784,319	0.1
平成30年	1月	170,804	△ 2.0	67,219	1.1	42,850	18.6	56,111	△ 12.6	327,699	△ 5.8	66,666	△ 1.3	37,887	29.7	769,236	△ 2.1
	2月	106,582	△ 2.3	46,909	△ 0.8	32,710	2.8	48,304	△ 3.2	286,568	0.2	54,482	△ 0.3	28,057	1.8	603,612	△ 0.4

【注】 1. 販売額の単位は万円。 2. 前年比の単位は%(△はマイナス)。 3. 平成26年12月以降、一部の調査対象店舗で売場構成の見直しがあり、部門別の前年比に大幅な差異があります。